



シンポジウム

「大規模イベントの楽しみはどのように取り戻されてきたか ～2025年大阪・関西万博を見据えて～」を開催！

2/20（月）10：00～12：00@オンライン

❖ 概要

このたび、大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）※は、「大規模イベントの楽しみはどのように取り戻されてきたか」をテーマに、2023年2月20日（月）にシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、「Jリーグが行ってきた声出し応援の運営検証（その後の政府による声出し応援の緩和までを含む）、下水疫学に関するオリパラ選手村の実践と大阪・関西万博での適用の展望、大阪・関西万博における感染症対策の準備状況などについて議論します。これまでの大規模集会での感染症対策に関する実践例を共有するとともに、大阪・関西万博の準備に向けて話し合います。

つきましては、本イベントの積極的なご周知とご取材をお願いいたします。

❖ イベント概要

「大規模イベントの楽しみはどのように取り戻されてきたか～2025年大阪・関西万博を見据えて～」

【日時】2023年2月20日（月）10:00-12:00

【開催形態】Zoomによるオンライン配信（事前申込制）

【参加費】無料

【詳細 URL】<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/news/research20230220.html>

【申込 URL】<https://forms.gle/t1n8zFuyHd4kijzd7>

【プログラム】

▽【第1部／取り組みの紹介】

1) 「Jリーグの声出し応援再開に向けた取り組み」

入江 知子 公益社団法人日本プロサッカーリーグフットボール本部新型コロナウイルス対策部部長

2) 「Jリーグの声出し応援再開に向けた取り組みと計測・感染リスク評価」

保高 徹生 産業技術総合研究所新型コロナウイルス感染リスク計測評価研究ラボ長

3) 「東京2020オリンピックパラリンピック選手村における下水疫学の実装について」

村上 道夫 大阪大学 CiDER 特任教授（常勤）

4) 「大阪・関西万博開催時における下水疫学の活用に向けた技術実証の現状と展望」

北島 正章 北海道大学大学院工学研究院准教授、大阪大学 CiDER 連携研究員

5) 「大阪万博における感染症対策の準備状況 ―健康危機事態体制をつかさどる大阪健康安全基盤研究所からの対応―」

朝野 和典 大阪健康安全基盤研究所理事長

▽【第2部／パネルディスカッション】

ファシリテーター 村上 道夫 大阪大学 CiDER 特任教授（常勤）

Press Release

パネリスト 小林 博幸 塩野義製薬新規事業推進部長
 滝 順一 日本経済新聞編集委員
 入江 知子 公益社団法人日本プロサッカーリーグフットボール本部新型コロナウイルス対策部部長)
 保高 徹生 産業技術総合研究所新型コロナウイルス感染リスク計測評価研究ラボ長
 北島 正章 北海道大学大学院工学研究院准教授、大阪大学 CiDER 連携研究員
 朝野 和典 大阪健康安全基盤研究所理事長



シンポジウム
大規模イベントの楽しみは
どのように取り戻されてきたか
 ～ 2025年大阪・関西万博を見据えて～

開催日時 2023年2月20日(月) 午後10:00～12:00
開催方法 Zoom によるオンライン開催(事前申込制) **参加費** 無料
※入場券は事前に申し込みが必要です。
申込方法 申込フォームからのお申込
<https://forms.gle/11n8zFuyHd4k1jed7>
※申込用のメールアドレスにZoom ID URLが送付されます。
 ※申込フォーム(申込フォーム)の入力システムの関係で難しい場合は、
 メールにてお問い合わせください。

趣旨・目的 本シンポジウムでは、Jリーグが持つさまざまな声出しの歴史(選手やスタッフの教育による声出しの普及や声出しの普及を促すなど)、
 大学に開く声出しの場としての意義と大規模イベントでの活用(大規模イベントにおける声出しの普及や声出しの普及を促すなど)の
 事例などについて議論します。これまでの大規模イベントでの声出しに関する議論を共有するとともに、大阪・
 関西万博の開催に向けて取り組んでいます。

シンポジウムプログラム (開演、収録は2023年1月開始)

- 開演の紹介 10:00～11:00
- パネルディスカッション 11:05～11:55
- 閉会の挨拶、感謝状の授与、閉会の挨拶

パネリスト: 小林 博幸氏、滝 順一氏、入江 知子氏、保高 徹生氏、北島 正章氏、朝野 和典氏

主催: 大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER) 科学情報・公共政策部門
 共催: 産業技術総合研究所 (AIST) 感染リスク計測・評価ラボ、大阪府立大学
 後援: 日本経済新聞、日本プロサッカーリーグ (Jリーグ)
 協賛: 日本製薬

問い合わせ先: 大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER) 科学情報・公共政策部門
 MAIL: cid@ciider.osaka-u.ac.jp

※大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER) について

大阪大学では、2021年4月に感染症総合教育研究拠点 (CiDER) を立ち上げ、①科学的エビデンスに基づく総合的な情報発信と政策提言、②分野横断による予防ワクチン、診断法、治療法等の総合的な研究開発、③医療従事者等への最新技術・知識の教育訓練、将来の感染症対策リーダーの育成に取り組んでいます。

詳しくは Web ページをご覧ください。 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/>

※村上道夫

大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授 (常勤)。専門分野はリスク学、衛生工学。大規模集会の感染リスク分析、パンデミックや災害において間接的に生じる健康リスク評価を課題解決志向的に行うとともに、ステークホルダーとの協働に向けたリスクコミュニケーション方法の理論化と実践を実施。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/researchers/murakami.html>